科目名	経営情報工学特論Ⅱ（Management Information Engineering Ⅱ）

学 年	専 攻	単 位 数	必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数
第2学年	経営情報工学専攻	2 単位	必修	講義	後期 100 分/週	90 時間

担 当 教 員	【常勤】 専攻科担当教員

学 習 到 達 目 標

科目の到達目標レベル	実践的・創造的能力を持つ経営のエンジニアには，専門分野のみでなく，他専門分野の知識や思考法をも踏まえた学際的視野を持つことが要求される. (1) 経営情報工学以外の専門分野について、さまざまな研究や最近の話題について理解し、学際的視野を持つことができる。 (2) 経営、情報、数理のいずれかの専門分野を柱としつつ、他分野の知識と技術を取り入れ、新しい「もの」を設計できる。

学習・教育目標	(C)	JABEE基準1（2）	(d)-(1), (e)

関 連 科 目 ， 教 科 書 お よ び 補 助 教 材

関連科目	
教科書	
補助教材等	

達 成 度 評 価 （%）

(1) 自分の専門分野外の現状や展望，および応用上の問題点や課題について理解し，説明できる.	レポートによって評価する。	35%
(2) 本科並びに専攻科で修得した知識・技術を駆使して，課題を解決する"もの"を設計し，報告書をまとめることができる.	報告書によって評価する。	65%

評価方法 / 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	報告書	合計
総合評価割合				35				65	100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】				◎				○	
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】								◎	
汎用的技能 【　】									
態度・志向性(人間力) 【　】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ能力】								◎	

学 習 上 の 留 意 点 お よ び 学 習 上 の 助 言

第6回以降のテーマ選択は本科目の趣旨により、特別研究指導教員を含まないチームから選択すること。
経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性などの現実的な条件の範囲内で、ニーズに合ったシステム、エレメント（コンポーネント）、方法を開発することを目指す。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
1	ガイダンス	経営情報工学特論Ⅱにおける講義および実習の進め方を理解し、実行できる。	
2	第2～5回は、経営情報工学とは異なる他専門分野について理解するため、生産システム工学専攻・物質工学専攻の工学特論Ⅱを受講し、理解できる。		
3			
4			
5			
6	第6～15回は経営情報工学の枠組みの中で，経営・情報・数理の知識や技術を組み合わせた ″もの″ づくりに取組む．経営・情報・数理のうち2分野以上にわたる複合分野の現実問題に対して，他分野を専門とする2人以上の教員がチームを組み，それぞれ の専門分野の知識や手法を用いた課題を設定する．学生は教員チームから提示された課題の中から自分の専門分野と関連する課題を選択し，これまでに修得した知識・技術を駆使し，かつ創造性を発揮して，″もの″ を立案し，解としての ″もの″ を実現する． グラフ理論と経営の応用（伊藤・中岡） XBRLを活用した財務諸表の作成（内田・田川） 企業価値分析における経営指標の感度分析（武藤・荒川） eラーニングサイトの構築（二木・根岸） 経済・経営事象に関する数理統計モデルの構築とその応用（松野・挾間）		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
総 学 習 時 間 数			90 時間
講　　義			25 時間
自学自習			65 時間